

見積業者選定経過書

1 業 務 名	令和 7 年度業務共同化モデル実証事業伴走支援委託業務
2 応募者数	3 者
3 評価会議の構成 座長 議員	【座長】 経営・創業支援課長 【議員】 経営・創業支援課 中小企業支援係長 産業立地・IT 振興課 課長補佐兼 IT バレー推進係長 産業技術課 企画幹兼技術振興係長
4 選定基準	別紙のとおり
5 選定結果 選定された者 評価点集計結果（点数）	EY ストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社 306 点
6 企画提案を求める具体的 内容	ア 業務経験及び専門性 ・過去に実施した類似の業務の内容 ・省力化・省力化支援の実績 イ 地域・社会貢献 ・産業構造や企業、労働力人口の減少等の県内産業の情勢や課題の把握状況 ・業務完了によって達成を目指す、地域貢献に資する目標 ウ 業務の内容 ・伴走支援が可能な産業分野 ・伴走支援における支援回数及び内容 ・実証事業報告会の内容 ・実施スケジュール エ 業務実施体制 ・伴走支援者の専門性 ・その他の人員及び人数 オ 業務に要する経費及びその内訳
7 企画提案で評価された点	省力化・省人化の伴走支援における多くの経験と、事業遂行時の躓きを予防するノウハウなどの高い専門性を有していることが、高い評価を得た。
8 総合的判断	要求水準を満たした企画提案のうち最高点であった EY ストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社を見積業者を選定した。

(別紙)

業務共同化モデル実証事業伴走支援委託業務
プロポーザル評価基準表

項 目	審議内容	配点
1 業務経験及び専門性の有無	・過去に類似の業務経験があること ・省力化・省人化支援の実績があること	20
2 地域・社会貢献に関する事項	・産業構造や企業、労働力人口の減少等の県内産業の情勢や課題を把握していること ・業務完了によって達成を目指し、地域貢献に資する目標があること	10
3 業務の内容	・多岐にわたる産業分野の支援が可能であること ・伴走支援は、省力化・省人化の成果を見込むのに十分な支援回数・内容であること ・実証事業報告会は、県内企業への波及が見込める内容であること ・実施スケジュールが適切であること	30
4 業務実施体制	・伴走支援者に省力化・省人化支援の専門性があること ・適切な人員・人数の配置であること	30
5 業務に要する経費及びその内訳	・費用が適正な価格であること	10
合 計		100